

1 学年 臨時休業中（5/25～5/29まで）の課題一覧

教科	課題内容	提出日	先生から
国語	①基礎の学習… 4ページ～13ページ 自信がなくても、間違っても良いので、空欄を作らないように考えて答えを書き込みましょう。 ②単元別漢字ノート… 2ページ～13ページ	次回登校する日	①②共に14(木)・15(金)の課題受渡し日に配布しています。どちらもていねいな字で直接書き込みましょう。漢字練習は、手本の字をよく見て正確な字を書いて覚えましょう。
社会	①「ヨーロッパの範囲と地域区分」②「ヨーロッパの基礎基本(国名編)・(地形編)」(裏表)③「ヨーロッパの農業と工業の特徴 読み取り問題」④「ヨーロッパ州のまとめ」 ※ホッチキス止めしてあるプリントです。	次回登校する日	予習の内容です。教科書や地図帳、インターネット等で調べたり、家族等と相談して構いません。プリントの内容について休校明けにいずれテストをする予定です。答えは29日(金)にHPに掲載します。丸付けと赤で直ししましょう。
数学	課題プリントの冊子に取り組んでください。 教科書を読みながら、ノートにまとめて、理解できるようにがんばってください。	2回目の数学の授業で提出。 (提出方法は、初回の授業にて)	授業ができない状況で、教科書を予習してもらっていますので、とても大変だと思いますが、何回も読み直し、確認をしながら進めてください。授業が始まったら、予習した内容の理解度を確認していきますので、安心してください。
理科	理科の宿題冊子 微生物・植物のつくり ①～④	次回登校する日	5月22日までに取り組む宿題の続きです。取り組み方も前回と同様です。④は授業の材料にもするので下部の氏名記入をお願いします。
英語	2点式ペンマンシップの14ページから23ページまでをていねいに練習しましょう。	次回登校する日	①大文字・小文字の違いや書く位置に注意しましょう。②ローマ字は小学校で習ったものと違う文字もあります。(英語ではそう書きます。)③単語も読み方がわからないものもあるかもしれませんが、書くことに挑戦してみましょう。
音楽	♪①「大二中校歌」を覚えよう！ ♪②プリント「リズムゲームをしよう♪」の手順をよく読んで、自分の作ったリズムをシートに書き込んでみよう！ そして自分の作ったリズムを、1♩下の③のように「タン・タ・タ・ウタ・ウン…」と声に出し、手で一緒にたたいてみよう！ (授業が始まったら、授業でたたいてもらいます)	②のプリントを、緊急事態宣言が解かれた最初の登校日に提出です。	①の校歌は楽譜2枚と説明書をよく読み、早く大二中校歌を歌えるようにしましょう！ 授業が始まったら少しでも楽しい授業がやっていたらと思いますので、そのためにもまず校歌を覚え、②小学校の復習(音符の種類等)しっかりやり、リズムをたたけるようにしましょう！
体育	前回に引き続き、課題プリントに取り組みましょう ①教科書 運動やスポーツの多様性 ②ラジオ体操&補強運動 記録表	次回の登校日	①教科書をよく読んで取り組もう！ ②授業が始まったら確認をします。 継続して取り組み、毎日記録しましょう！
美術	イメージをふくらませよう 課題1: 制作室6 私の標本箱 課題2: 制作室18 ○○のつぶやき 配布された画用紙の裏に参考作品があります。良く見て取り組みましょう!!	次回の登校日	○色々なアイデアやイメージをふくらませながら、楽しく、描いてみましょう。 ○色鉛筆やカラーペン、サインペン、定規、コンパス、何でも自由に使って描きましょう。
技術	【前回配布した課題と同じです】 前回課題:プリント冊子1冊	次回の登校日	前回配布した課題と同じです。引き続き取り組んでください。余裕がある人は教科書で興味のあるところを学んだり、家で実践したりして自らの学びを進めていきましょう。
家庭	「わたしたちの衣生活」のプリント冊子1冊 (P1～7) 【前回配布済み】	次回の登校日	◆1ページから順番に教科書を参考にに取り組んでください。 ◆家庭の仕事に進んで取り組みましょう。
道徳	①教科書P12～「自然教室での出来事」、P17～「さよならの学校」をよく読み、ワークシートを活用して理解を深める。 ②教科書P11に記入した内容を「私の道徳ノート」P8に写して、P8を完成させる。	次回の登校日	◆2枚分が5月29日までの課題となります。 ◆1週間に1つの教材に取り組むように計画的に進めましょう。 ◆ワークシー2枚を、「私の道徳ノート」にのりで貼り付ける。【P9に「自然教室での出来事」、P10に「さよならの学校」を糊で張る。】
学年	①「Foresight 2020」(手帳)を毎日記録する。 ②「健康カード」の記入	次回の登校日	◆「Foresight 2020」(手帳)の記入について ①P10、11と次の2ページの記入例をよく読み記録する。自分流にアレンジを加えて使いやすくするのもよい。 ②毎日、その日のうちに記入するように習慣付けましょう。

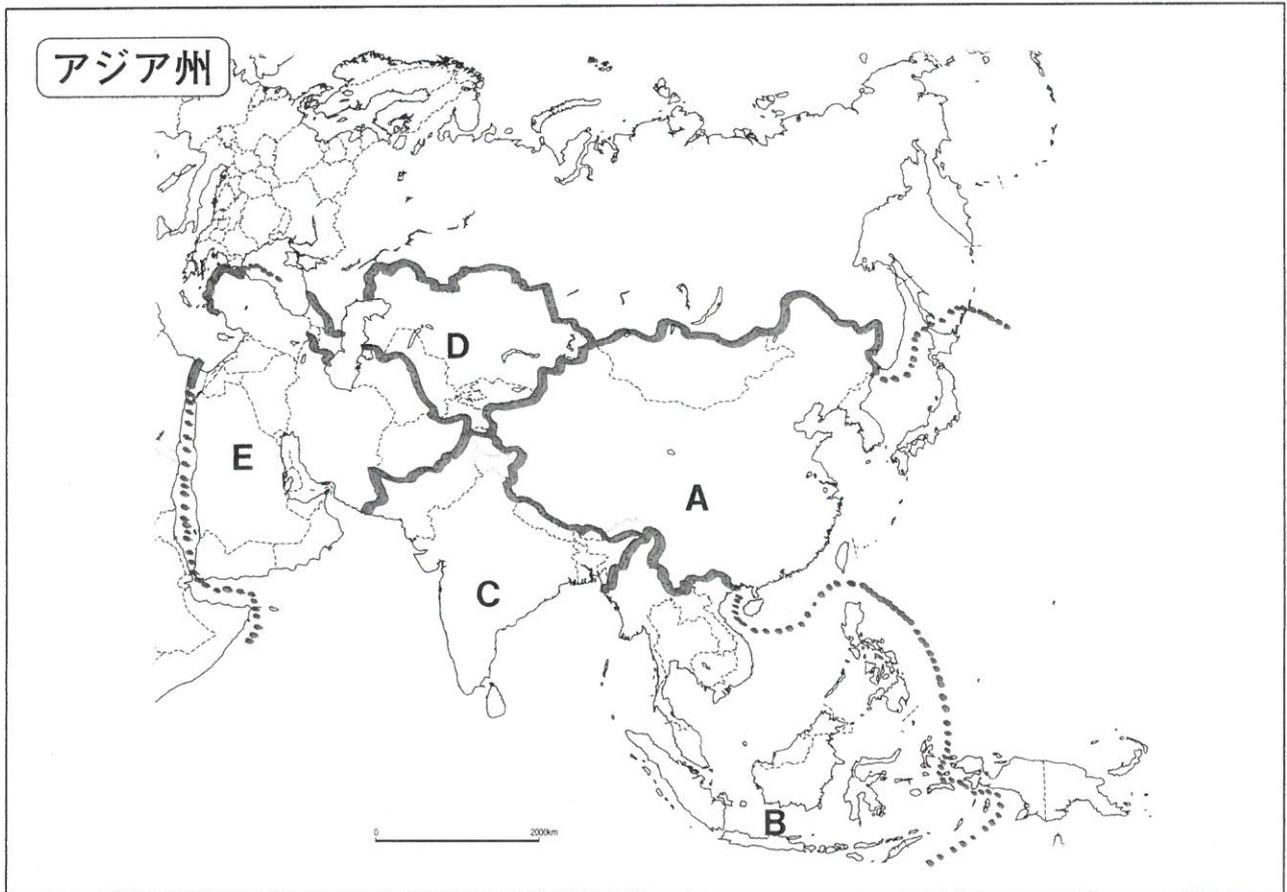
※もし、さらに休校が延長された場合、

次回の課題は、**5月29日(金)**に大二中ホームページに掲載する予定です。
ホームページには、課題一覧と課題プリントが掲載されますので、印刷してしっかり取り組んでください。

自宅で印刷できない場合は、下記の時間帯で1年昇降口に取りに来てください。
配布時間は9:00～16:00です。

地理プリント

アジアの範囲と地域区分



1. アジア州は【東アジア・中央アジア・西アジア・南アジア・東南アジア】の5つに分かれている。地図中のA～Eはどれに当てはまるか。《ヒント：教科書36ページ》

- A : (東アジア) B : (東南アジア) C : (南アジア)
 D : (中央アジア) E : (西アジア)

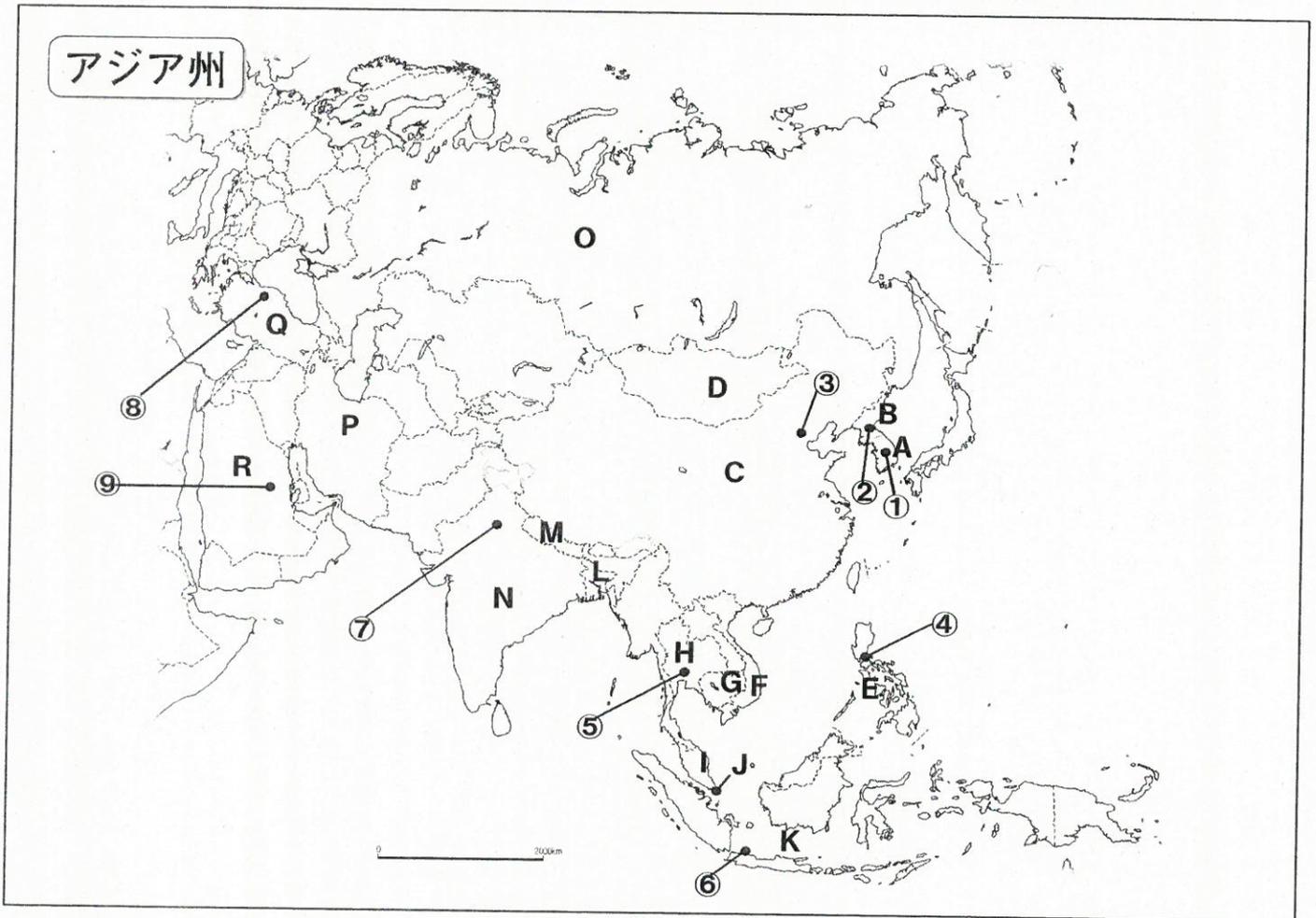
2. 次の国々は地図中のA～Eのうち、どの地域に属するか。地図帳で調べて書きなさい。

- A : (中華人民共和国、大韓民国、日本)
 B : (タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン)
 C : (インド、バングラデシュ)
 D : (カザフスタン、ウズベキスタン)
 E : (サウジアラビア、トルコ、イラン、イスラエル、アラブ首長国連邦)

中華人民共和国	タイ	インド	大韓民国	バングラデシュ		
サウジアラビア	インドネシア	トルコ	イラン	ベトナム	日本	
フィリピン	カザフスタン	イスラエル	ウズベキスタン	アラブ首長国連邦		

地理プリント

アジアの基礎基本 (国名編)



1. 地図中のA~Rの国名を書きなさい。

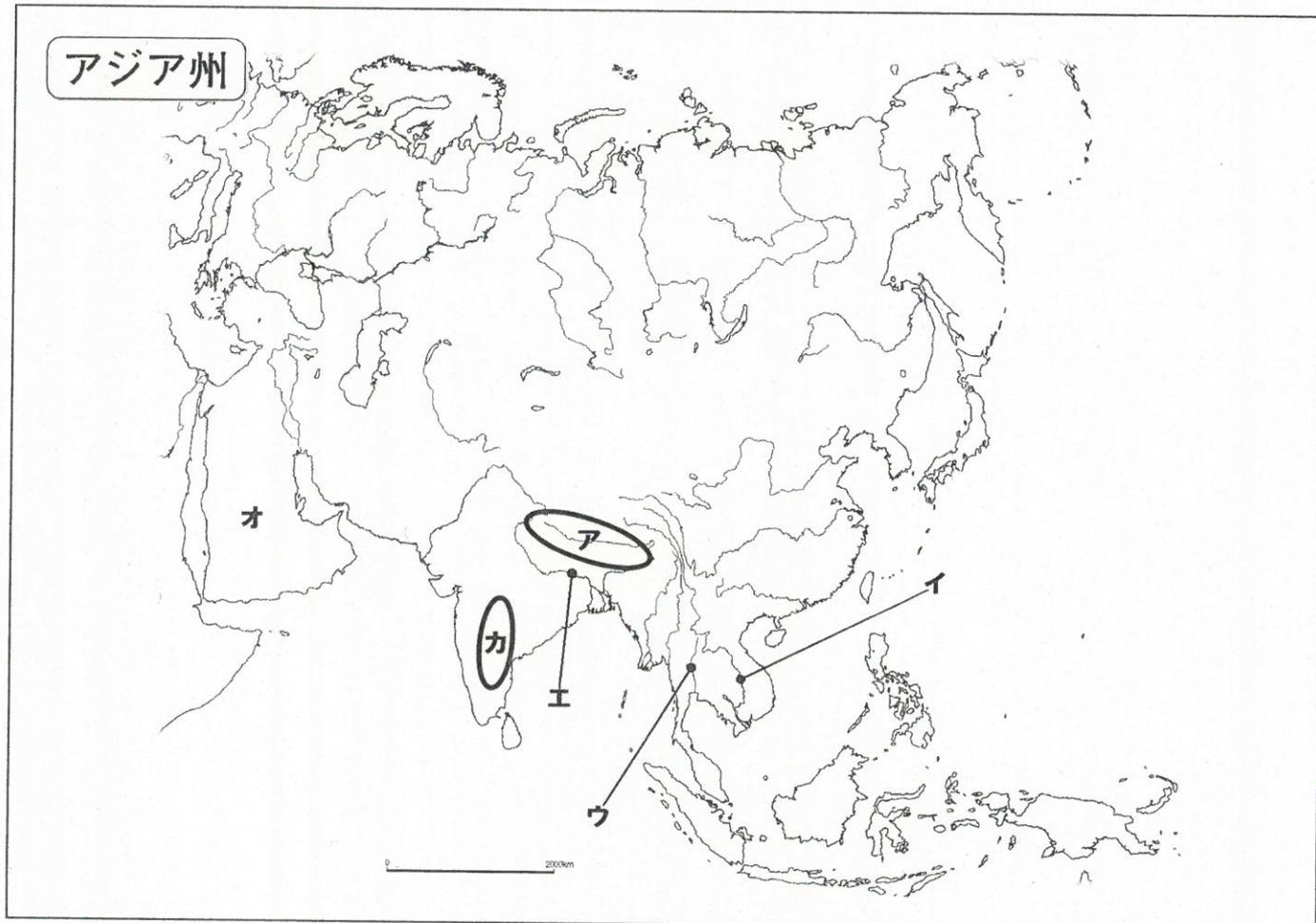
- A:(大韓民国) G:(カンボジア) M:(ネパール)
- B:(朝鮮民主主義人民共和国) H:(タイ) N:(インド)
- C:(中華人民共和国) I:(マレーシア) O:(ロシア連邦)
- D:(モンゴル) J:(ミャンマー) P:(イラン)
- E:(フィリピン) K:(インドネシア) Q:(トルコ)
- F:(ベトナム) L:(バングラデッシュ) R:(サウジアラビア)

2. 地図中の①~⑨の首都名を書きなさい。

- ①:(ソウル) ④:(マニラ) ⑦:(テヘラン)
- ②:(平壤(ピョンヤン)) ⑤:(バンコク) ⑧:(アンカラ)
- ③:(北京(ペキン)) ⑥:(シヤカルタ) ⑨:(リヤド)

地理プリント

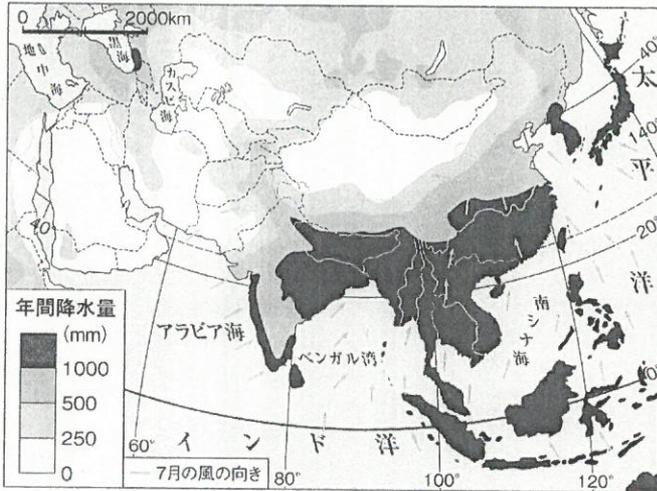
アジアの基礎基本 (地形編)



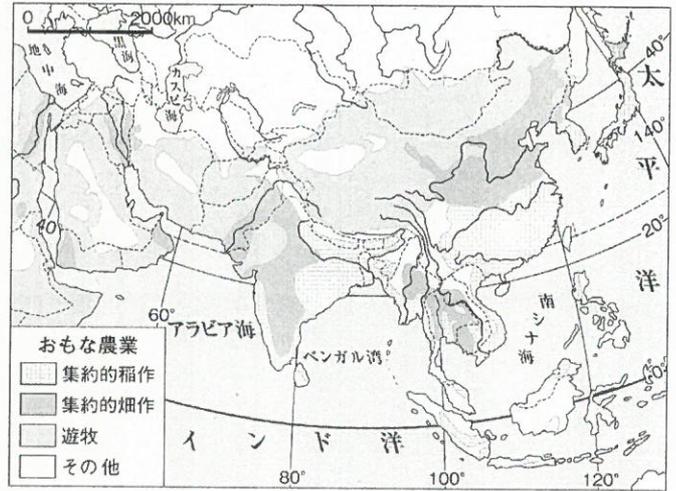
3. ネパールにある世界最標高の**ア**の山脈を何というか。 (ヒマラヤ 山脈)
4. ラオス、カンボジア、ベトナムを流れ、南シナ海にそそぐ**イ**の国際河川を何というか。
(メコン 川)
5. タイの稲作を支えるタイの国内を流れる**ウ**の川を何というか。
(チャオプラヤ 川)
6. インド、バングラディシュを流れ、ベンガル湾にそそぐ**エ**の国際河川を何というか。
(ガンジス 川)
7. サウジアラビアがある**オ**の半島を何というか。 (アラビア 半島)
8. インドの中央部にある**カ**の高原を何というか。 (デカン 高原)

地理プリント

アジアの人口と農業の特徴 読み取り問題



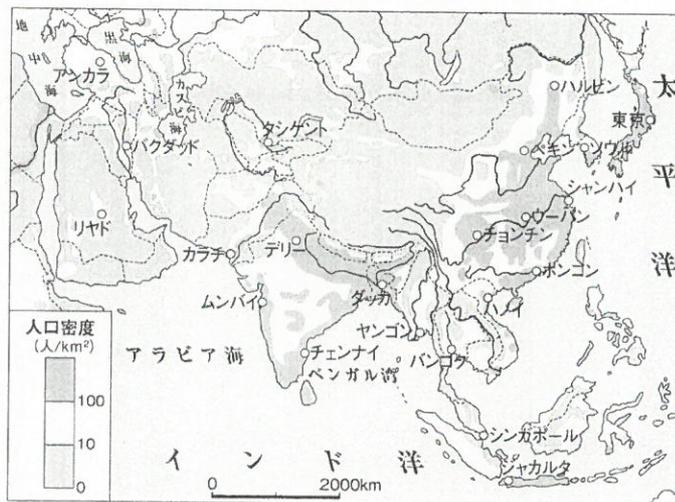
↑アジアの年間降水量 (CRU 資料, ほか)



↑アジアの農業 (グーズアトラス 2005)

【問題 1】アジアの年間降水量とアジアの農業の図を説明した文章の空欄を埋めなさい。

降水量の (1 **多**) い中国南部やインド東部では (2 **稲作**) が行われている。降水量の (3 **少な**) い中国北部やインド西部では小麦やとうもろこし、綿花などをつくる (4 **畑作**) が行われている。そして乾燥した中国内陸部や西アジアや中央アジアでは (5 **遊牧**) を中心とした農牧業が行われている。資料を注意深く見比べると、稲作は年間降水量が (6 **1000**) mm 以上の地域で行われていることがわかる。



↑アジアの人口密度 (2006 年) (ディルケアトラス 2008 年)

【問題 2】アジアの人口密度の図を説明した文章の空欄を埋めなさい。

農業が盛んな東アジアや (7 **南**) アジアの平野部では人口密度が (8 **高**) くなっている。一方、山地や乾燥の厳しい中央アジアや (9 **西**) アジアでは、人口密度が (10 **低**) くなっている。

アジア州のまとめ

【重要語句編】教科書36～47ページを見て書きなさい。

1. 東アジアや南アジアでよく吹く、半年ごとに風向きが変わる風を何というか。
(季節風(モンスーン))
2. 年に2回同じ作物を作ることを何というか。
(二期作)
3. 他国に売るための農作物(商品作物)をつくる大規模農園のことを何というか。
(プランテーション)
4. 西アジアの国々が多く加盟している石油産出国の利益を守ることを目的とした組織を何というか。
(石油輸出国機構(OPEC))
5. 鉱産資源の中でも先端技術産業にかかせない希少金属のことを何というか。
(レアメタル)

【国の特徴編】次のA～Hの説明に合うアジア州の国名を書きなさい。

- A 世界で最も人口の多い国。社会主義国であるが農業面では生産責任制を導入し、工業・商業面では経済特区を設けている。石油・石炭・天然ガス・鉄鉱石など鉱産資源が豊富で、小麦(北部)・米(南部)・茶・じゃがいも・豚肉・石炭・金・TV・PC・携帯電話・デジカメ・鉄鋼などの生産量が世界一。近年、高い経済成長を遂げ2009年以降日本の最大の貿易相手国となった。
国名:(中華人民共和国)
- B 東南アジアで唯一欧米諸国の植民地にならなかった国。国民の90%以上が仏教を信仰している。チャオプラヤ川下流の三角州は低湿地帯になっており、洪水も多いが稲作も盛ん。米の輸出量が世界一。近年は工業にも力を入れている。
国名:(タイ)
- C 世界で二番目に人口が多い国。元イギリスの植民地。カースト制という身分制度が根強く残り、ヒンドゥー教徒が国民の大半を占めている。米(南西部・北東部)・小麦(西部や内陸部)・茶・さとうきびの生産量が世界2位。鉄鉱石・石炭などの鉱産資源も豊富。時差を利用したアメリカの企業が進出している。
国名:(インド)
- D アジアNIESの一つに数えられ、鉄鋼・造船・電子工業などが発達している国。1910年から1945年まで日本が併合しており、第二次世界大戦後に独立した。1948年に北緯38度線を境に朝鮮民主主義人民共和国と分かれ、資本主義の国として経済を発展させてきた。日本を訪れる人が中国と一・二位を争うほど多い国である。ハンゲルという文字を使う。
国名:(大韓民国)
- E 世界最大の島国でイスラム教徒が世界一多い国。人口が世界で4番目に多い。元オランダの植民地。パーム油や天然ゴム、カカオの生産、漁業が盛ん。鉱産資源も豊富。
国名:(インドネシア)
- F アラビア半島の大半を占める国。イスラム教の聖地メッカがある。ペルシャ湾岸で採掘される石油は産出量も埋蔵量も、世界で常に上位にあり、日本へも多く輸出している。
国名:(サウジアラビア)
- G ユダヤ人の国。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地がある。首都を含むパレスチナ地域は中東戦争により併合され、自治政府が治めている。紛争が絶えない不安定な地域である。
国名:(イスラエル)
- H 国土の多くが熱帯雨林におおわれ、木材を多く日本へ輸出している国。プランテーションでパーム油や天然ゴムの栽培が盛ん。鉱産資源も豊富。近年は工業にも力を入れている。マレー系住民・華人系住民・インド系住民などからなる多民族国家である。
国名:(マレーシア)

5月25日(月)の学習

先週の金曜日は、負の数を含めた計算のうち、ひき算について学びました。

金曜日の課題の最後に、『計算法則上、たし算とひき算で決定的に違う点はなんだと思いますか。』と聞きましたが、どうでしたか。最も違いがあるのは、『たし算には交換法則と結合法則が成り立つ』ということです。ひき算では、これらの法則が成り立ちません。この法則のおかげで、たし算は順番を気にしないで計算することができるのです。小学

校で、たし算は工夫して計算できました。じつはこれらの法則のおかげだったわけです。前回、ひき算をたし算になおして計算する方法を学びましたが、それは、たし算の計算法則をひき算に流用できるという利点だけではありません。すべてのひき算をたし算にしまえば、『交換法則と結合法則』が常に成り立ちます。つまり、いつでも順番にとらわれず、工夫して自由に計算できることを意味するのです。

今日は、たし算とひき算が混じった計算について学んでいきます。では、教科書 30 ページを開いてください。

教科書 P. 30



どうすればいいかな

$$(+7) - (+8) + (-5) - (-9)$$

は、どのように計算すればよいでしょうか。

穴埋めして、
ノートにまとめよう

$(+7) - (+8) + (-5) - (-9)$ のような が混じった式は、 になおせることから、 だけの式にして、次のように計算することができます。

$$\begin{aligned} & (+7) - (+8) + (-5) - (-9) \\ = & (+7) + (-8) + (-5) + (+9) \\ = & (+7) + (+9) + (-8) + (-5) \\ = & (+16) + (-13) \\ = & +3 \end{aligned}$$

見た目が同じ+でも、正の符号の+と、たし算記号の+があることに注意

加法だけの式、

$$(+7) + (-8) + (-5) + (+9) \dots\dots ①$$

で、

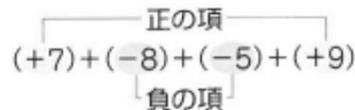
$$+7, -8, -5, +9$$

を、この式の といいます。

また、

$$+7, +9 \text{ を } \text{ } -8, -5 \text{ を } \text{ }$$

といます。



教科書 P. 30 問1 をノートに解いてみましょう。

正負の符号＋やカッコ()、たし算記号+、ひき算記号-をしっかりと書くと、問1のように見た目が複雑な式になります。少しでも見た目をすっきりさせることはできないでしょうか。教科書 31 ページを見てください。

教科書 P. 31

$$(+7)+(-8)+(-5)+(+9)$$

項だけ書く。
たし算記号の+は省略

穴埋めして、
ノートにまとめよう

$$\begin{aligned} &7-8-5+9 \\ = &7+9-8-5 \\ = &16-13 \\ = &3 \end{aligned}$$

7-8-5+9を
7 - 8 - 5 + 9のように少しだけ隙間をあけると、意識しやすいかも。

「7-8」の部分の『-』は
ひき算記号とは見ない。

教科書 P. 31 問2 をノートに解いてみましょう。

たとえば、(1)は、『6から9を引く』とみて解くのではなく、『+6と-9のたし算』と考えて解きましょう。

教科書 P. 31 例1を確認して、問3 をノートに解いてみましょう。

教科書 P. 32

自分のことばで伝えよう ☺

-3+9-5-9を、けいたさんとかりんさんは、次のように計算しました。

それぞれ、どのように考えて計算したのか説明しましょう。

$$\begin{aligned} &-3+9-5-9 \\ = &9-3-5-9 \\ = &9-17 \\ = &-8 \end{aligned}$$

けいた

$$\begin{aligned} &-3+9-5-9 \\ = &-3+9-5-9 \\ = &-3-5 \\ = &-8 \end{aligned}$$

かりん

ひき算をたし算になおして計算することで、いろいろな工夫ができるようになります。

教科書 P. 32 練習問題 ① ② ③ をノートに解いてみましょう。

今日はここまでです。

0より小さい数『負の数』が加わったことの良さを少しずつ実感してくれたでしょうか。

5月26日(火)の学習

昨日は、たし算とひき算の混じった計算について学びました。

今日は、かけ算について学んでいきます。では、教科書 33 ページを開いてください。

教科書 P. 33



どうなるかな

$(-2) \times 3$ は、たし算で表すとどうなるでしょうか。

負の数 \times 正の数 も、同じように考えると、

$(-2) \times 3 = \text{■} = -6$

この -6 は、 $-(2 \times 3)$ に等しくなります。

穴埋めして、
ノートにまとめよう

小学校のときのかけ算の考え方の
原則と同じように考える。

教科書 P. 33 例 1 を確認して、問 1 をノートに解いてみましょう。

数直線で考えると、数の動きを意識できる。

教科書 P. 34

$$\begin{aligned} (+2) \times (+3) &= +6 \\ (+2) \times (+2) &= +4 \\ (+2) \times (+1) &= +2 \\ (+2) \times 0 &= 0 \\ (+2) \times (-1) &= \text{■} \\ (+2) \times (-2) &= \text{■} \\ (+2) \times (-3) &= \text{■} \end{aligned}$$

規則的に 3, 2, 1 と減らしていくと、
答えも規則的に 2 ずつ減っている。

穴埋めして、
ノートにまとめよう

それならば、その規則性から求める数が出るはず

ここは難しい部分なので、学校再開後の授業でも、
しっかり説明するので安心してください。

教科書 P. 34 例 2 を確認して、問 2 をノートに解いてみましょう。

教科書 P. 35

$$\begin{aligned} (-2) \times (+3) &= -6 \\ (-2) \times (+2) &= -4 \\ (-2) \times (+1) &= -2 \\ (-2) \times 0 &= 0 \\ (-2) \times (-1) &= \text{■} \\ (-2) \times (-2) &= \text{■} \\ (-2) \times (-3) &= \text{■} \end{aligned}$$

さっきと同じように規則性を見出して考えよう

穴埋めして、
ノートにまとめよう

ここは難しい部分なので、学校再開後の授業でも、
しっかり説明するので安心してください。

教科書 P. 35 例 3 を確認して、問 3 をノートに解いてみましょう。

今日はここまでです。明日は、いよいよわり算について学びましょう。

5月27日(水)の学習

昨日は、かけ算について学びました。今日は、いよいよわり算について勉強します。教科書 36 ページを開いてください。

教科書 P. 36



どうなるかな

次の□にあてはまる数は、どうなるでしょうか。

$$\square \times 2 = -6, \quad \square \times (-2) = 6, \quad \square \times (-2) = -6$$

上の  から、

$$(-6) \div 2 = -3$$

$$6 \div (-2) = -3$$

$$(-6) \div (-2) = 3$$

穴埋めして、
ノートにまとめよう

ここは難しい部分なので、学校再開後の授業でも、しっかり説明するので安心してください。

36 ページの問題をやる前に、次のページのまとめをやってしまいましょう。

教科書 P. 37

2数の積, 商

同符号の2数の積, 商

符号

絶対値

異符号の2数の積, 商

符号

絶対値

かけ算のことを わり算のことを といいます。

穴埋めして、
ノートにまとめよう

つまり、数値部分を計算して、符号をつけるだけ。
小学校との違いは、符号だけ。

それでは、問題をやってみましょう。

教科書 P. 36 例4を確認して、問4 をノートに解いてみましょう。

教科書 P. 37 例5を確認して、問5 をノートに解いてみましょう。

教科書 P. 37 練習問題 ① ② をノートに解いてみましょう。

今日はここまでです。明日もがんばりましょう。

5月28日(木)の学習

昨日は、わり算について学びました。

今日と明日の2日間をかけて、かけ算とわり算が混じった計算を勉強します。

今日は、実際にかかけ算とわり算の混じった計算をするために必要なことを学んでいきます。

教科書 38 ページを開いてください。

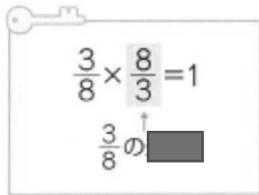
前回までに、正負の整数のかけ算とわり算をやりました。さて、整数以外の計算はどうでしょうか。

以前もやりましたが、分数や小数といっても、整数と同じ数であることに変わりはありません。そう考えれば、整数の

計算法則は、そのまま分数や小数にも使えます。複雑になったように見えても、計算のやり方は同じです。焦らず、じっくり取り組んでみましょう。

教科書 P. 38 例1を確認して、問1 をノートに解いてみましょう。

教科書 P. 38


$$\frac{3}{8} \times \frac{8}{3} = 1$$

今は、単純に、分子・分母が逆になった数だと思ってもOKです。

穴埋めして、ノートにまとめよう

2つの数の積が1になるとき、一方の数を、他方の数の
といます。
これは、負の数でも同じです。

教科書 P. 38 例2を確認して、問2 をノートに解いてみましょう。

小学校で、分数のわり算を計算するとき、逆数のかけ算にして解いたことを思い出してください。負の数であっても、数であることに変わりはありませんから、小学校で使ってきた

計算法則は、そのまま中学校でも使うことができます。それでは、教科書 39 ページを開いてください。

教科書 P. 39

除法を乗法に

正の数・負の数でわるには、

穴埋めして、ノートにまとめよう

教科書 P. 39 例3を確認して、問3 をノートに解いてみましょう。

教科書 P. 39

$$a \times b = b \times a \quad (a \times b) \times c = a \times (b \times c)$$

が成り立つことを知っています。これらを、それぞれ、



といいます。

これらの法則は、をふくむ場合にも成り立ちます。

穴埋めして、
ノートにまとめよう

加法にも
交換法則と
結合法則が
あったね



それでは、この法則が正しいことを自分で確かめてみましょう。

教科書 P. 39 問4 をノートに解いてみましょう。

『交換法則と結合法則』を成り立つ乗法(かけ算)は、順番に縛られず、自由に工夫して計算できます。

それでは実際に解いてみましょう。

教科書 P. 40 問5 をノートに解いてみましょう。

たし算とひき算の比較(5/25の学習)で学んだ通り、交換法則と結合法則が成り立つことは、順番を意識せず、工夫して計算できることを意味します。わり算を逆数のかけ算にかえて計算することが、とても便利だとわかるでしょう。さ

らに、逆数を用いれば、すべてのわり算をかけ算にかえて計算できるわけですから、かけ算の計算法則をそのまま使うことができます。たし算とひき算のときと、同じです。

今日はここまでです。明日は、かけ算とわり算が混じった計算をやっていきます。

明日もがんばりましょう。

5月29日（金）の学習

昨日は、かけ算とわり算が混じった計算を勉強しました。

逆数をうまく用いることで、わり算をかけ算に書きかえて計算できました。今日は、さらに理解を深めていきましょう。

それでは、教科書 40 ページを開いてください。

教科書 P. 40

ひろげふ **どんなことがわかるかな**

次の計算をして、その結果をくらべましょう。

(1) $1 \times (-2) \times 3 \times 4$

(2) $1 \times (-2) \times (-3) \times 4$

(3) $(-1) \times 2 \times (-3) \times (-4)$

(4) $(-1) \times (-2) \times (-3) \times (-4)$

実際に計算して、
符号に関する計算法則を見つけよう

穴埋めして、
ノートにまとめよう

負の符号の個数が

偶数個のとき ……	
奇数個のとき ……	

教科書 P. 40 例 4 を確認して、問 6 をノートに解いてみましょう。

かけ算だけであれば、順番を意識しないで計算できます。また、符号は数値部分(絶対値)に関係しないので、別々に独立して計算できるイメージです。つまり、小学校

の計算ができれば数値部分は計算でき、そこに符号をつけ加えるだけで中学校のかけ算はできるのです。

それでは、次に、かけ算とわり算が混じった計算に挑戦しましょう。わり算には『交換法則と結合法則』が成り立ちませんので、計算の順番に注意する必要があります。非常

に不便です。しかし、すでにみなさんはその回避方法を学びました。すべてのわり算をかけ算に書きかえる方法です。それでは、問題に取り組みましょう。

教科書 P. 41 例 5 を確認して、問 7 をノートに解いてみましょう。

- ①すべて×に
 - ②符号
 - ③計算の順だよ

教科書 P. 41 練習問題 ① ② ③ をノートに解いてみましょう。



今週はここまでです。

みなさんにお会いできることを楽しみにしています。

< 課題の解答 > 5/18 ~ 5/22

P.14 問1

- (1) -3°C (2) -2.5°C

問2

旭川 -4.8°C , 札幌 -4.3°C , 釧路 -4°C , 青森 -1°C

P.15 問3

- (1) -12 (2) $+9$ (3) $+1.5$ (4) $-\frac{3}{5}$

問4

自然数は、4, +12

整数は、-5, -6, 4, 0, +12

P.16 問5

Aは-4, Bは-1.5, Cは+0.5, $-\frac{3}{5}$ とok, $-\frac{1}{2}$ とok

問6

練習問題

- ① (1) $+18$ (2) -36 (3) $+\frac{1}{3}$ (4) -0.8
- ② 負の数は、 $-3.2, -10, -\frac{5}{8}, -1, -0.1$

自然数は、+9, 6

P.17 問1

反対の性質を表すので、500円の損失は、 -500 円

P.18 問2

曜日	月	火	水	木	金
利用者数(人)	210	195	203	193	200
目標(200人)との違い	+10	-5	+3	-7	0

P.18 問3

- (1) -4個多い (2) -6cm長い
- (3) -3kg重い (4) -10円余る

P.19 問1

◎絶対値は...

- (1) 5 (2) 8 (3) 3.5 (4) $\frac{3}{4}$

◎符号を変えた数は...

- (1) +5 (2) -8 (3) +3.5 (4) $-\frac{3}{4}$

P.20 問2

◎大きい数は...

- (1) 3 (2) -2

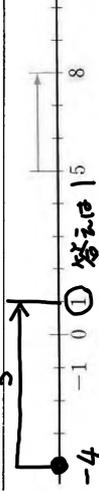
◎絶対値が大きい数は...

- (1) -4 (2) -5

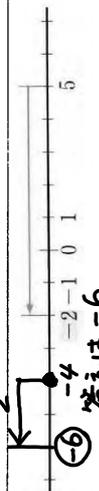
問3

- (1) $4 < 5$ (2) $-3 > -7$
- (3) $-1.6 < -0.6$ (4) $-\frac{3}{8} > -\frac{5}{8}$

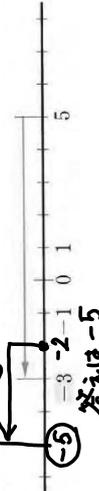
P.21 問4



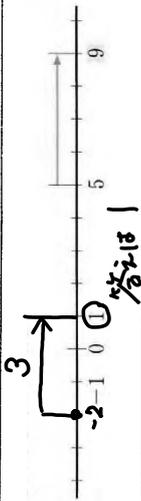
問5



問6



P.22 問7



問8

- (1) -2 (2) +2 (3) -3 (4) -5
- (5) -3 (6) -4 (7) +5 (8) +4

練習問題

- ① -2, -1, 0, +1, +2
- ② (-5), (-4), (-3), (-2), -1, 0, +1, (+2), (+3), (+4), (+5)
よから、8個

③ (1) $-0.01 > -0.1$ (2) $-\frac{1}{2} < -\frac{1}{3}$

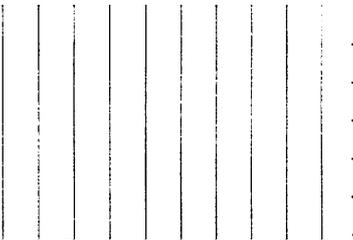
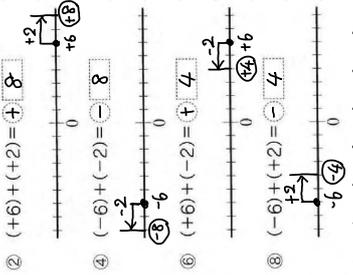
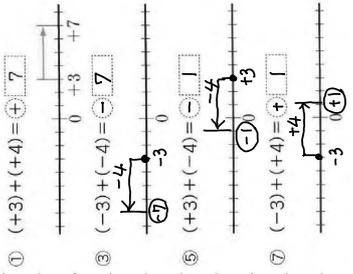
④ ①の小さい順は...

- $-\frac{8}{5}, -1.2, -0.5, 0, 0.2, \frac{3}{5}$

⑤ 絶対値の小さい順は...

- $0, 0.2, -0.5, \frac{3}{5}, -1.2, -\frac{8}{5}$

P.25



P.26 問1

(1) $(-8) + (-3)$
 $= -(8+3)$
 $= -11$

(3) $(-7) + (+18)$
 $= +(18-7)$
 $= +11$

問2

(1) $(+21) + (-26)$
 $= -(26-21)$
 $= -5$

(3) $(-25) + (+22)$
 $= -(25-22)$
 $= -3$

(5) $(-27) + (-34)$
 $= -(27+34)$
 $= -61$

(7) $(-49) + (+49)$
 $= 49-49$
 $= 0$

P.27 問3

(1) $+4$
 (2) $(-4) + (-6) = -10$
 (3) $(-5) + (-5) = -10$
 (4) $(-9) + (+9) = 0$
 (5) $(-7) + (+9) = +2$
 (6) $(+4) + (-10) = -6$

P.27 例4

$$(1) (-0.4) + (-0.3) \\ = -(0.4 + 0.3) \\ = -0.7$$

$$(3) \left(-\frac{3}{7}\right) + \left(+\frac{2}{7}\right) \\ = -\left(\frac{3}{7} - \frac{2}{7}\right) \\ = -\frac{1}{7}$$

$$(4) \left(-\frac{4}{5}\right) + \left(-\frac{1}{5}\right) \\ = -\left(\frac{4}{5} + \frac{1}{5}\right) \\ = -\frac{5}{5} \\ = -1$$

$$(5) \left(-\frac{1}{3}\right) + \left(-\frac{1}{4}\right) \\ = -\left(\frac{1}{3} + \frac{1}{4}\right) \\ = -\left(\frac{4}{12} + \frac{3}{12}\right) \\ = -\frac{7}{12}$$

$$(6) \left(+\frac{1}{8}\right) + \left(-\frac{3}{10}\right) \\ = \left(+\frac{5}{30}\right) + \left(-\frac{9}{30}\right) \\ = -\left(\frac{9}{30} - \frac{5}{30}\right) \\ = -\frac{4}{30} \\ = -\frac{2}{15}$$

P.28 例5

$$\{(+3) + (-4)\} + (-5) \\ = (-1) + (-5) \\ = -6$$

↑
一致

$$(+3) + \{(-4) + (-5)\} \\ = (+3) + (-9) \\ = -6$$

↑
一致

P.29 例6

$$(1) (+6) - (-2) \\ = (+6) + (+2) \\ = +8$$

$$(2) (-9) - (+4) \\ = (-9) + (-4) \\ = -13$$

$$(3) 0 - (-7) \\ = 0 + (+7) \\ = +7$$

$$(4) (-5) - (-5) \\ = (-5) + (+5) \\ = 0$$

$$(5) (-27) - (-12) \\ = (-27) + (+12) \\ = -15$$

$$(6) (-17) - (+54) \\ = (-17) + (-54) \\ = -71$$

例7

$$(1) (-1.6) - (+0.6) \\ = (-1.6) + (-0.6) \\ = -2.2$$

$$(2) (+3.5) - (-2.3) \\ = (+3.5) + (+2.3) \\ = +5.8$$

$$(3) \left(-\frac{1}{6}\right) - \left(-\frac{5}{6}\right) \\ = \left(-\frac{1}{6}\right) + \left(+\frac{5}{6}\right) \\ = +\frac{4}{6}$$

$$(4) \left(+\frac{1}{2}\right) - \left(-\frac{1}{3}\right) \\ = \left(+\frac{1}{2}\right) + \left(+\frac{1}{3}\right) \\ = +\left(\frac{3}{6} + \frac{2}{6}\right)$$

$$= +\frac{5}{6}$$

練習問題

$$(1) (+6) + (+4) \\ = +10$$

$$(2) (-7) + (-8) \\ = -15$$

$$(3) (+2) - (+6) \\ = (+2) + (-6) \\ = -4$$

$$(4) (+32) - (+47) \\ = (+32) + (-47) \\ = -15$$

$$(5) (-14) + (+22) = +8$$

$$(6) (-28) + (-72) = -100$$

$$(7) (+47) - (+32) = (+47) + (-32) = +15$$

$$(8) (-36) - (-18) = (-36) + (+18) = -18$$

$$(9) (-35) + (+35) = 0$$

$$(2) (1) (-3.3) + (-4.7) = -8$$

$$(2) (-3.9) - (-6.4) = (-3.9) + (+6.4) = +2.5$$

$$(3) (-1.2) - (+1.2) = (-1.2) + (-1.2) = -2.4$$

$$(4) (-\frac{7}{9}) + (-\frac{5}{9}) = -\frac{12}{9}$$

$$(5) (+\frac{4}{5}) + (-\frac{3}{2}) = (+\frac{8}{10}) + (-\frac{15}{10}) = -\frac{7}{10}$$

$$(6) (-\frac{1}{8}) - (-\frac{5}{8}) = (-\frac{1}{8}) + (+\frac{5}{8}) = (-\frac{1}{24}) + (+\frac{20}{24}) = +\frac{19}{24}$$